

★日常生活のモラルやマナーは

ネット上でも同じ

相手の立場に立って考えること、思いやりのある行動をとることなど、これまでも道徳教育で大切にしてきたことですが、ネットワーク上でのコミュニケーションでも同じことです。

★ネットワークの特性や

危険性を知る

ネットの特性として、気軽に名前や住所などの個人情報伝えてしまうと、自分の身を危険にさらしてしまうことがあること、一度書き込んだ情報は取り返しがつかないこと、ネット上に潜んでいる危険性から身を守ることを、子ども達に知らせる必要があります。

★学校と家庭とが連携した指導

情報安全教育は、情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てるために、学校だけでなく、家庭と連携して行う必要があります。

★安全なネット利用のために

家庭では、子どもがインターネットや携帯電話を使う場合、使う目的をはっきりさせ、約束ごとを決めた上で、保護者の指導のもとに使わせることが大切です。

★安全なネット利用のために

家庭は、子どもたちが安心して相談できる場所、子どものSOSを受け止めることができる場所となるよう、次の5か条を参考にしてください。

子どもをネット上のトラブルから守るために...

携帯電話のメールやインターネットを利用したネット上のトラブルが子どもたちの間に急速に広まり、大きな社会問題となっています。市内の小・中学校では情報安全教育を実施していますが、今回の「ひのっ子きょうい」では、保護者の皆さんに考えていただきたい5か条について紹介します。ICT活用教育推進室のWebサイトからもご覧いただけます。http://www.hino-kyo.ed.jp/ict-edu/

子どもをネット上のトラブルから守るための5か条

1. 子どもの実態を知りましょう
2. 家のコンピュータに「フィルタリング」をかけましょう
3. 子どもの携帯電話に「フィルタリング」をかけましょう
4. 携帯電話に「なりすましメール」の拒否設定をしましょう
5. 携帯電話やインターネットを使うときのルールを決めましょう

1. 子どもの実態を知りましょう

- 子どもが家庭で見せるSOSのサインをキャッチしましょう。
- 子どもがどんなサイトを見ているか気をつけましょう。

日頃から子どもの様子を良く見てあげてください。
小さな変化に気づいてあげてください。

具合が悪そう・・・
イライラしている様子・・・

避けている様子・・・

2. 家のコンピュータに「フィルタリング」をかけましょう

詳細は以下のサイトを参照してください。

- 契約しているプロバイダのWebサイト
- 総務省「フィルタリング(有害サイトアクセス制限サービス)をご存知ですか」

http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/d/swphi/filtering.html



3. 子どもの携帯電話に「フィルタリング」をかけましょう

- お店にて、無料で簡単に申し込みができます。詳細は以下のサイトを参照してください。
- 携帯電話会社各社の提供する「有害サイトアクセス制限サービス」
- 社団法人 電気通信事業者協会「有害サイトアクセス制限サービス 携帯・PHSの利用に関して」
<http://www.tea.or.jp/japan/information/ketal/index6.html>



4. 「なりすましメール」の拒否設定をしましょう

- 携帯電話の購入時には、全てのメールを受信するように設定されていますので、購入後すぐに設定変更することをお勧めします。
- 詳細は以下のサイトを参照してください。
- 携帯電話会社各社の迷惑メール対策について



5. 携帯電話やインターネットを使うときのルールを決めましょう

親子で話し合い、インターネットを上手に使いましょう

- ・なぜ使いたいのか どんなことに使うのか
- ・いつ使うのか いつ使わないのか
- ・どこで使うのか どこで使わないのか
- ・約束をやぶったらどうするか